令和４年度 第１回 加古川市地域公共交通会議 議事概要

○開催概要

開催日時	令和５年２月６日（月）　午後２時から午後３時 30 分まで
開催場所	加古川市役所　新館 10 階　大会議室
出 席 者	委員 19 名、オブザーバー７名、事務局６名
議事次第	**１　開会** 会議の趣旨 委員の紹介 出席状況報告 会長・副会長の選任、会長あいさつ **２　議事** 議案第１号　加古川駅～県立加古川医療センター～六甲バター北／稲美町役場線の休止について 議案第２号　自家用有償旅客運送「上荘くるりん号」の更新登録について **３　その他** 協議事項１　平荘地区における公共交通再編について 協議事項２　平岡北地区におけるかこバスミニ路線導入について 報告事項　コミュニティ交通の運行状況について **４　閉会** 副会長あいさつ

○議事概要

■　議案第１号　加古川駅～県立加古川医療センター～六甲バター北／稲美町役場線の休止について

＜説明概要＞

神姫バス路線である加古川駅～県立加古川医療センター～六甲バター北／稲美町役場線においては、乗車人員が少なく、路線維持が困難であるため、令和５年 10 月１日に路線休止を検討している。

＜意見・質疑応答＞

（委　　員）休止の基準は設けているのか。

（神姫バス）休止の基準は設けていない。しかし、乗合バスの性質上 1 便あたり２人以上の利用が前提となり、その利用人数が少なければ、タクシー等、代替となる公共交通の有無を踏まえて判断している。

（委　　員）国や県、市からの補助は無いのか。

（事 務 局）当該路線は県補助の対象となっているが、今後、利用人数等により対象とならない場合も想定される。

（委　　員）休止となった場合、県立加古川医療センター（以下、医療センター）に向かう便が減ることになるが、どのような乗り継ぎをすれば良いか。

（神姫バス）加古川市内の方で医療センターに行くには、福沢の停留所から甲南加古川病院行の便で行くことができる。
稲美町の方が医療センターに行くには、土山駅から路線バスやＪＲを利用して加古川駅まで行き、加古川駅北口から概ね 30 分に１本の割合で出ている医療センター行の路線バスに乗車すれば行くことができる。
（委　　員）乗り換えた場合の運賃は高くなるのか。
（神姫バス）加古川市内の方でニコパカード（ＩＣカード）を利用される方は、上限運賃制度により片道 200 円を上限とすることができる。

（議決）議案第１号
原案承認　※委員 19 名中、19 名（全員）が同意

■　議案第２号　自家用有償旅客運送「上荘くるりん号」の更新登録について
＜説明概要＞
自家用有償旅客運送「上荘くるりん号」については、国の許可を受けて運行しており、現在の登録の有効期間が令和５年３月３０日をもって満了する。
上荘くるりん号については、年間約 1,300 人の方が利用されており、地域の移動手段として定着していることから、引き続き運行を継続するため、更新登録を行いたい。

＜意見・質疑応答＞
（委　　員）運行における課題はあるか。
（事 務 局）運転手の高齢化が課題である。今後、運転手の意向を尊重しながら、運行が継続できるように地元と協議していきたい。

（議決）議案第２号
原案承認　※委員 19 名中、19 名（全員）が同意

■　協議事項１　　平荘地区における公共交通再編について
＜説明概要＞
平荘地区における公共交通については、現在、かこバスミニ平荘ルートを運行しているが、令和３年度においては、１便当たり（片道）の平均乗車人数が 1.0 人未満となっている。従来の定時定路線型からデマンド型の区域運行に移行し、また目的地の範囲を地域周辺の病院、買い物施設等に拡大することにより、地域内のきめ細やかな運行や、公共交通網の維持及び地域住民の移動手段の確保を図る。

＜意見・質疑応答＞
（委　　員）市の補助を前提とした運行になると考えられるが、予算計上はしているのか。
（事 務 局）現在予算要求を行っており、令和５年３月議会により審議される予定である。
（委　　員）登録者・利用者が増えるように、どのような周知を検討しているか。

（事 務 局）令和５年２月末頃から集落ごとに説明会を実施する予定。
※令和５年度中に開催予定の地域公共交通会議にて協議予定

■ 協議事項２　平岡北地区におけるかこバスミニ路線導入について

＜説明概要＞

平岡北地区については、東加古川駅以北を中心に住宅団地が形成されているが、高齢化に伴い、日常生活における移動手段の確保を求める声が大きくなっている。また、当該地区の一部においては、東加古川駅から半径１㎞、バス停留所から半径 500m 圏外の公共交通空白地域となっており、「かこバスミニ」を導入し、小型車両を活用した日常生活を補完する枝線の導入を検討する。

＜意見・質疑応答＞

（委　　員）平岡北地区においては、住民の高齢化が進んでいる。コミュニティバスの導入は心待ちにしているため、是非実現してほしい。

※令和５年度中に開催予定の地域公共交通会議にて協議予定

■ 報告事項　コミュニティ交通の運行状況について

＜説明概要＞

市コミュニティ交通のかこバス、かこバスミニ、チョイソコかこがわ、上荘くるりん号における直近の利用者数、運行経費等について報告を行った。

＜意見・質疑応答＞

特になし